

環境宣言チャレンジシート【重点項目】

環境目的	取り組み	チェック欄 ○×
電気使用量の削減	<p>作業場・トイレ・休憩室の使用時以外消灯</p> <p>更衣室の照明・空調を不在時は電源を切る(タイマー使用するなど)</p> <p>蛍光灯をこまめに消す</p> <p>冷暖房の温度設定を見直す (現行の設定温度から冷房は+1°C、暖房は-1°Cの設定に変更する。 または冷房26度以上、暖房22°C以下とする)</p> <p>エアコンは定期的にフィルター清掃を実施し効率を上げる</p> <p>パソコンのスクリーンセーバー、自動電源OFF時間の設定をする</p> <p>(客観的な)適正照度の維持、蛍光灯の定期清掃の実施</p> <p>長期間使用しない機器はコンセントを抜いておく</p>	
ガソリンの使用量の削減	待機運転の中止・経済速度の利用	
水使用量の削減	水を出しつぱなしにしない	
5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の推進	病院周辺の定期的清掃	
臭気対策	紙おむつ・布おむつの処理を工夫している	
有害物質・危険物質の管理	衛生管理委員会を定期的に開催する	
	安全管理者の定期ラウンドの実施	
その他	ご意見箱の設置	

環境宣言チャレンジシート

環境目的	取り組み	備考	チェック欄
(1) 電気使用量の削減	作業場・トイレ・休憩室の使用時以外消灯	重点	
	更衣室の照明・空調を不在時は電源を切る(タイマー使用するなど)	重点	
	蛍光灯をこまめに消す	重点	
	各装置の未使用時の電源オフの徹底	参考	
	トイレ換気扇の未使用時OFF	参考	
	冷暖房の温度設定を見直す	重点	添付資料※1
	冷暖房中は、窓を開けない	参考	
	エアコンは定期的にフィルター清掃を実施し効率を上げる	重点	
	パソコンのスクリーンセーバー、自動電源OFF時間の設定をする	重点	
	客観的な適正照度の維持、蛍光灯の定期清掃の実施	重点	
	過度の照度を避ける。省エネタイプの蛍光灯を使用する	参考	添付資料※2
	電気製品の買い替え時は省エネタイプを検討する	参考	
	電球より蛍光灯を優先して使用する	参考	
	下りの場合のエレベーターの使用は極力避け階段を利用する	参考	
	長期間使用しない機器はコンセントを抜いておく	重点	
(2) ガス使用量の削減	むだなお湯の使用削減	参考	
	ガス空調機の使用削減(稼動台数の調節など)	参考	
	中間期(春・秋ごろ)の空調機停止	参考	
	夏場は給湯温度を下げる	参考	
	ボイラーなどの時間帯の設定(夜間停止など)による削減	参考	
(3) ガソリンの使用量の削減	職員はできるだけ公共の交通機関を利用する	参考	
	移動時に自転車を使用する	参考	
	自動車の導入時は省エネタイプのものを選ぶ	参考	
	待機運転の中止・経済速度の利用	重点	
	効率的な荷物量での使用	参考	
	(自動車の一括管理による台数削減	参考	
	外出時の時間調整による同乗	参考	
(4) 水使用量の削減	節水システムの利用	参考	添付資料※3
	水の出しつぱなしにしない	重点	
	水道をレバー式・自動式にして定量管理する	参考	
(5) コピー用紙使用量の削減	印刷物の再利用	参考	
	コピー用紙を各部署管理とする	参考	
	コピーミスを減らす	参考	
	電子化の推進(パソコンの活用など)	参考	
	シュレッダー使用後の廃棄紙リサイクル	参考	
	10枚以上印刷時のリソグラフ使用	参考	
(6) 文房具類(鉛筆、ボールペン・トナー等)使用量の削減	消耗品は使いきる	参考	
	ボールペンは替え芯を使用する	参考	
	カートリッジでインクの詰替えができるマーカーの使用	参考	
	不必要的カラーコピーの削減	参考	
	リサイクルのコピートナーの使用	参考	

環境目的	取り組み	備考	チェック欄
(7) 乾電池使用量の削減	充電池の使用	参考 添付資料※4	
(8) 画像記録ロスフィルムの削減	ロスフィルムの削減	参考	
(9) 医療材料の管理	医療材料の在庫の軽減(定数管理・SPDの活用など)	参考	
(10) 5S(整理・整頓・清掃・清潔・美)の推進	机上・引出内の整理・整頓(事務室・医局・当直室)	参考	
	文房具の整理・削減(定数配置)	参考	
	書籍棚・書類等の整理	参考	
	不要物の徹底排除	参考	
	業者を交えた清掃委員会などの設置	参考	
	病院周辺の定期的清掃	重点	
(11) 臭気対策	紙おむつ・布おむつの処理を工夫している	重点	
(12) ペーパータオル・割り箸使用量の削減	ペーパータオルの使用は原則1枚	参考	
(13) 厨芥廃棄物の減量	食事利用方法の見直しによる廃棄物削減 ・エコクッキング(出し昆布、ブロックリーの芯など通常破棄するものを利用) ・カット野菜、冷凍食材、長期保存可能食材の利用	参考	
	個人にあった食事量の提供 ・個人の食欲や嗜好に合わせてハーフ食などの食種変更や禁止食の対応 ・咀嚼や嚥下状態に合わせた食事形態の変更 ・選択食の実施	参考	
	残飯調査、嗜好調査の評価 ・発注量の見直し	参考	
	残飯の水切りの徹底	参考	
	詰替えできる容器の使用	参考	
(15) リサイクルの推進	ビン・カン・ペットボトルのリサイクル	参考	
	段ボールのリサイクル	参考	
	古紙のリサイクル(古紙の分別)	参考 添付資料※5	
	シュレッダー使用後の廃棄紙のリサイクル	参考 添付資料※5	
	コピートナーのリサイクル	参考	
	蛍光灯のリサイクル	参考	
	ガラス類のリサイクル(建築用床材・壁材)	参考	
	廃油のリサイクル	参考	
(16) 有害物質・危険物の管理	ホルマリン液の管理	参考	
	ホルマリン保存量の削減	参考	
	衛生管理委員会を定期的に開催する	重点	
	最低必用限度の定数管理	参考	
	安全管理者の定期ラウンドの実施	重点	
(17) その他	ご意見箱の設置	重点	